

別記様式第1号その3（第1条関係）

電気通信回線に接続して行う
自動公衆送信により公衆の閲覧に
供する方法を用いるかどうかの別

①. 用いる 2. 用いない

送 信 元 識 別 符 号

h エッチ	t ティ	t ティ	p ピー	:	/	/	w ダブルユ	w ダブルユ	w ダブルユ	.	s エス	a エー	g ジー
a エー	.	o	o	o	o	o							
A エー	B ビー	C シー	D ディー	E イー	F エフ	G ジー	H エイチ	I アイ	J ジェイ	K ケイ	L エル	M エム	N エヌ
O オー	P ピー	Q キュー	R アール	S エス	T ティ	U ユー	V ヴィ	W ダブルユ	X エックス	Y ワイ	Z ゼット		
a エー	b ビー	c シー	d ディー	e イー	f エフ	g ジー	h エイチ	i アイ	j ジェイ	k ケイ	l エル	m エム	n エヌ
o オー	p ピー	q キュー	r アール	s エス	t ティ	u ユー	v ヴィ	w ダブルユ	x エックス	y ワイ	z ゼット		
0 ゼロ	1 イチ	2 ニ	3 サン	4 ヨン	5 ゴ	6 ロク	7 ナナ	8 ハチ	9 キュウ				
— ハイフン	.	/	:	—	~								

(例)

記載要領

- 1 数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 2 送信元識別符号の英字は、点線を参考にして、活字体で記入すること。
- 3 送信元識別符号のうち誤読されやすいものには、適宜ふりがなをふること。